

令和3年度  
「緊急事態食料安全保障指針」  
に関するシミュレーション演習  
の実施方針（案）について

令和3年10月19日

農林水産省

# 緊急事態食料安全保障指針に関するシミュレーション演習について

- 平成27年度に策定された食料・農業・農村基本計画から、緊急事態食料安全保障指針（以下、安保指針）に即し、平素から不測時の食料供給確保の具体的な方策について、事態ごとのシナリオによりシミュレーションを実施し、対応手順の実効性の検証、必要に応じた見直しや更なる充実を行うこととされている。
- これを受け、平成27年度及び令和元年度に、安保指針に即したシミュレーション演習を実施している。

平成27年度	令和元年度
<p><b>[実施方法]</b></p> <p>①事前の作業として、省内の各担当部局が、シナリオに沿った基本的な対応と、それに対する課題や懸念を整理した調査票を作成</p> <p>②作成した調査票を基に関係部局の担当者が対面で議論を行い、具体的な行動手順の整理と課題の抽出を行う</p> <p>③有識者を交え、抽出した課題についての検討を実施</p> <p><b>[シナリオ]</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・国内の不作により米の生産が大幅減少</li><li>・世界的不作により小麦の輸入が大幅減少</li><li>・北米や南米におけるとうもろこしの輸入が大幅減少（各作物ごとに実施）</li></ul>	<p><b>[実施方法]</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・事前の調査票を基にした対面での議論</li><li>・有識者の講評を受け実施</li></ul> <p><b>[シナリオ]</b></p> <p>世界的不作により小麦、大豆及びとうもろこしの輸入が大幅減少</p> <p><b>[主な成果]</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・情報収集や情報提供の方法について確認</li><li>・備蓄の活用や輸入の確保について確認等</li></ul> <p><b>[主な課題]</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平時からの情報収集体制を強化していく必要</li><li>・消費者対策として、効果的な発信情報を行うため、省内の連携を図っていく必要等</li></ul>

# 令和3年度安保指針シミュレーション演習の実施方針（案）

## 目的

1. 緊急時においても円滑な食料供給を維持するため、不測の事態を具体的に想定した上で、必要となる対応を検討しその実施手順を整理するとともに、担当部局間の連携・役割分担を明確化し、関係者全体で共有する。
2. 演習の過程で明らかになった課題について、短期的あるいは中長期的に対応すべき事項に分けて検討し、その結果を安保指針に反映させること等により、不測時の対応について常に検証を行う。

## 実施内容・手順

- ・ 事前の調査票を基に、省内の担当者が対面で議論する。また、食料安全保障アドバイザリーボードから助言・講評をいただく。
- ・ 7月1日付の安保指針の改正により「早期注意段階」が新設されたことを踏まえ、早期注意段階からレベル0～2までのシナリオとする。
- ・ シナリオの基本的な前提条件は前回の演習（令和元年度）を踏襲しつつ、昨今の状況を踏まえた条件の追加・変更等を行う。
- ・ 前回の演習（令和元年度）で課題されたことのうち「消費者対策」を重点テーマとする。